

令和5年玄海町議会定例会9月会議会議録

招 集 年 月 日	令和5年1月5日（木曜日）						
招 集 場 所	玄 海 町 議 会 議 場						
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	再開・開議	令和5年9月4日午前9時00分	議 長	上 田 利 治 君			
	散 会	令和5年9月4日午前9時55分	議 長	上 田 利 治 君			
応（不応）招議 員及び出席並び に欠席議員 ○ 出 席 × 欠 席 × 不応招 出 席 10名 欠 席 0名	議席 番号	氏 名	出 席 等 的 別	議席 番号	氏 名	出 席 等 的 別	
	1	谷 丸 直 司 君	○	2	松 本 栄 一 君	○	
	3	前 川 和 民 君	○	4	小 山 善 照 君	○	
	5	山 口 寛 敏 君	○	6	宮 崎 吉 輝 君	○	
	7	井 上 正 旦 君	○	8	池 田 道 夫 君	○	
	9	岩 下 孝 嗣 君	○	10	上 田 利 治 君	○	
	会議録署名議員		6 番	宮 崎 吉 輝 君	4 番	小 山 善 照 君	
	地方自治法第 121条第1項に より説明のため 出席した者の職 氏名	町 長	脇 山 伸 太 郎 君		副 町 長	西 立 也 君	
		教 育 長	岩 崎 一 男 君		総 務 課 長	渡 辺 晴 彦 君	
		防災安全課長	日 高 大 助 君		企画商工課長	鈴 木 博 之 君	
住民課長兼会計管理者		中 山 昌 直 君		福祉・介護課長	中 山 ふ み 君		
子ども・ほけん課長		山 口 善 正 君		農林水産課長	鶴 田 豊 明 君		
まちづくり課長		山 口 三 成 君		生活環境課長	中 村 大 造 君		
教 育 課 長		加 納 晴 美 君					
職務のために議 場に参加した者 の氏名	議会事務局長	熊 本 秀 樹		議会事務局書記	渡 辺 健 太		

令和5年玄海町議会定例会9月会議議事日程（第1号）

令和5年9月4日 午前9時再開（開議）

- 日程1 会議録署名議員の指名について
- 日程2 会議期間の決定について
- 日程3 議長の諸報告
- 日程4 町長の行政報告
- 日程5 議案第45号 玄海町教育委員会委員の任命について
- 日程6 議案第46号 佐賀縣市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
- 日程7 議案第47号 令和5年度玄海町一般会計補正予算（第4号）
議案第48号 令和5年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第49号 令和5年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第50号 令和5年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程8 議案第51号 令和4年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第52号 令和4年度玄海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第53号 令和4年度玄海町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第54号 令和4年度玄海町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第55号 令和4年度玄海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第56号 令和4年度玄海町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

午前9時 再開（開議）

○議長（上田利治君）

おはようございます。ただいまの出席議員は10名であります。定足数に達しておりますの

で、これより令和5年玄海町議会定例会9月会議を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を職員にさせます。

○議会事務局長（熊本秀樹君）

報告いたします。

本定例会9月会議に、別紙のとおり議案第45号から議案第56号までの人事案件1件、補正予算4件、決算の認定6件、その他1件、以上議案12件が町長から提出されております。

次に、本定例会9月会議における一般質問通告者は、3番前川和民議員、2番松本栄一議員、9番岩下孝嗣議員、3名であります。

以上でございます。

○議長（上田利治君）

本日の議事日程につきましては、あらかじめお手元に配付しております議事日程表によって御了承方お願いいたします。

日程1 会議録署名議員の指名について

○議長（上田利治君）

日程1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第108条の規定により、6番宮崎吉輝君、4番小山善照君を指名いたします。

日程2 会議期間の決定について

○議長（上田利治君）

日程2. 会議期間の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会9月会議の会議期間は、本日9月4日から14日までの11日間とし、本会議を4日、7日及び14日の3日間、委員会を8日及び11日から13日までの4日間、休会を5日から6日、9日から10日までの4日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会9月会議の会議期間は、本日9月4日から14日までの11日間とすることに決定いたしました。

日程3 議長の諸報告

○議長（上田利治君）

日程3. 議長の諸報告を行います。

地方自治法第235条の2第3項の規定による監査委員からの例月現金出納検査の報告と、本年6月から8月までの玄海原子力発電所の運転状況等の報告につきましては、お手元に配付しております書類により御了承方お願いいたします。

まず、7月10日に佐賀県市町総合事務組合議会臨時会が佐賀市で開催され、出席いたしました。付議案件として、まず議長の選挙が行われ、小城市の江里口市長が就任されました。次に、副議長及び管理者の選挙が行われ、副議長に私が、管理者に白石町の田島町長が就任されました。続いて、専決処分されていた個人情報の保護に関する条例関係3件について報告がなされ、全て承認されました。

次に、7月19日から20日までの2日間、佐賀県町村議会議長会の行政視察として、宮城県柴田町及び利府町の視察を行いました。柴田町は、人口3万6,000人ほどの人口規模で、男性議員14人、女性議員4人の議員数18人。議長、副議長ともに女性で、就任された2021年4月時点では全国で2例目だったとのことでした。柴田町議会では、2年ごとに議会基本条例の目標が達成できているかチェックシートによる段階評価を議会運営委員会で行い、その結果を基に2年間の行動計画作成、それを第三者に評価してもらい、町民に公表するというサイクルを確立させ、実行されておりました。また、議会懇談会をワールドカフェ形式やワークショップ形式で開催し、地元の高校生とも定期的に懇談会を行うなど、住民に開かれた議会を目指し、積極的に取り組まれている事例の実績、説明を受けました。

翌日、7月21日には全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会及び令和5年度定期総会が東京で開催され、出席いたしました。総会では、来賓として経済産業大臣、文部科学大臣、自由民主党、公明党、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、日本共産党、各政党の代表、全国原子力発電所所在市町村協議会会長の皆様から祝辞を賜りました。総会の付議案件として、令和4年度事業報告及び収入支出決算並びに令和5年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）が提案され、全て原案どおり決定されました。なお、総会終了後には、経済産業省資源エネルギー庁、山田資源エネルギー政策統括調整官から「GX基本方針を踏まえた今後の原子力政策について」と題して講演があり、各議会から質問、要望等活発な意見交換が行われました。

7月22日には、原子力規制委員会との意見交換会が唐津市で開催され、岩下原子力対策特別委員長及び脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

7月23日には、玄海バイオガス発電所竣工式が挙行され、小山産業厚生常任委員長及び脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、8月2日に令和5年度知事・市町議会議長懇話会が佐賀市で開催され、出席いたしました。懇話会は、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、当面する行政課題や施策について知事と市町議会議長が意見交換を行う場として開催され、市町の議長より、行政の課題と今後の施策について要望等がなされ、山口知事及び県幹部との意見交換が行われたところでございます。

次に、8月7日、佐賀県原子力環境安全連絡会が町民会館で開催され、岩下原子力対策特別委員会及び脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、8月8日、国道203号佐賀唐津幹線道路整備促進期成会、国道204号整備促進期成会、佐賀唐津道路唐津・多久間整備促進期成会合同の提案活動が佐賀市で行われ、脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、8月20日、全国教職員相撲選手権大会が町民会館で開催され、本町議会議員及び脇山町長、西副町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、8月23日、国道203号佐賀唐津幹線道路整備促進期成会及び佐賀唐津道路唐津・多久間整備促進期成会の合同提案活動が福岡市で行われ、脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、8月28日に佐賀縣市町総合事務組合議会定例会が佐賀市で開催され、出席いたしました。定例会の付議案件として、令和4年度一般会計決算及び令和4年度交通災害共済事業特別会計決算の認定、令和5年度一般会計補正予算（案）、令和5年度交通災害共済事業特別会計補正予算（案）が提案され、全て原案どおり決定されました。

次に、8月31日に佐賀県町村議会議長会が佐賀市で開催され、出席いたしました。付議案

件として、令和4年度収入支出決算並びに令和5年度一般会計補正予算（案）が提案され、全て原案どおり決定されました。

同日に、佐賀県町村議会議員研修会が開催され、全議員、青木代表監査委員及び脇山町長とともに出席いたしました。詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

以上をもちまして議長の諸報告を終わります。

日程4 町長の行政報告

○議長（上田利治君）

日程4. 町長の行政報告を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

おはようございます。本日は、議案を提出しましたところ、令和5年玄海町議会定例会9月会議を開催いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、6月会議以降、今日までの主なものについて行政報告を申し上げます。

まず、6月28日、佐賀市において町長例会が開催され、出席いたしました。例会ではまず、令和6年度に佐賀県で開催予定の第26回全国農業担い手サミットについて、県より今後のスケジュールや概要等の説明がなされました。本サミットですが、全国の意欲ある農業者が一堂に会し、農業経営の現状や課題などについての認識を深めるとともに、相互研さん、交流を行うことを目的として、平成10年度から毎年度、各県持ち回りによって開催されているところです。次に、各種審議会等委員の推薦、令和5年度佐賀県市町等職員採用統一試験等の説明があったほか、今年度の町長行政視察の日程等について協議を行いました。

次に、7月6日から7日の2日間、東京都において令和5年度唐津玄海ブランド確立協議会のトップセールスが開催され、出席いたしました。大田市場においてハウスミカンの展示会や販売とともに、来場者に向けてPR活動を行いました。品評会で最優秀賞を受賞したハウスミカンは、過去最高だった昨年を上回る1箱5キロ入りが150万円で競り落とされました。

次に、7月18日、第29回佐賀県GM21ミーティングが5月13日にオープンしたSAGAアリーナで開催され、出席いたしました。SAGAアリーナは、SAGA2024国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催を契機に整備された施設で、国内で初めて3つの大型ビジョンが標準装備され、迫力ある映像、光の演出を可能としたエンターテインメント空間と

なっていました。ミーティングの内容は、令和5年7月の九州北部豪雨災害について、アフターコロナ対応の広域観光策について、こども家庭庁発足に伴う子育て支援施策の今後について、SAGAアリーナを契機としたスポーツビジネスの好循環についてをテーマに意見交換を行いました。

次に、7月22日、佐賀県オフサイトセンターにおいて玄海原子力発電所に係る地元関係者、事業者及び原子力規制委員会との意見交換会が開催され、上田議長、岩下原子力対策特別委員長とともに出席いたしました。出席者は、原子力規制委員会から山中委員長と伴委員、地元関係者は発電所から30キロ圏内の自治体の代表者、事業者は九州電力株式会社が参加し、意見交換会は各自治体の代表者が意見等を述べ、山中委員長と伴委員が答える形で進められました。私からは、特定重大事故等対処施設の設置期限が5年以内とされた根拠や、震源を特定せず策定する地震動を踏まえた基準地震動の見直しに関する質問及び安全審査の効率化に関する要望を行いました。

次に、7月23日、玄海バイオガス発電所竣工式が開催され、上田議長、小山産業厚生常任委員長とともに出席いたしました。竣工式では、神事が執り行われた後、テープカットを行いました。本施設は、本町で盛んな畜産業において、長年の課題となっておりました家畜排せつ物を地域資源として活用することで、畜産農家の課題解決と脱炭素化に資する施設となるところであります。

次に、7月27日、福岡市において西九州自動車道建設促進期成会提案活動に参加いたしました。提案活動では、九州地方整備局に対し、西九州自動車道全線の早期完成に向けた提案書を提出いたしました。今回、提案活動を行った西九州自動車道は、福岡市を起点とし、唐津市、平戸市、佐世保市などを経由し、武雄市に至る路線です。本町においても、観光ルートを整備、避難道路として防災機能の向上に寄与する重要な道路となりますので、早期竣工を目指し、今後も引き続き提案活動を行ってまいります。

また、同日、福岡県中間市において九州地方電源地域連絡協議会の総会が開催され、出席いたしました。総会では、令和4年度の事業報告及び歳入歳出決算、令和5年度の事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）が審議され、原案のとおり承認されました。

次に、8月3日、佐賀市において町長例会が開催され、出席いたしました。例会では、まず国土交通省九州地方整備局から、建設業の役割と厳しい現状として、今後の地域経済、地域社会の持続的な発展のため、建設業の働き方改革や担い手確保に向けた適正な公共工事の

発注についての説明がなされました。次に、定例総会付議事項として、令和4年度佐賀県町村会関係会計決算についての審議を行いました。その後、陸上自衛隊西部方面隊と九州地区町村会との相互協力に関する協定の締結についての報告がなされました。

次に、8月7日、町民会館において佐賀県原子力環境安全連絡協議会が開催され、上田議長、岩下原子力対策特別委員長とともに出席いたしました。会議では、玄海原子力発電所の運転状況、各種工事の状況、1、2号機の廃止措置の実施状況及び発電所周辺の環境への影響に関する調査結果や、玄海原子力規制事務所において実施されている原子力規制検査の結果について説明がありました。

次に、8月8日、佐賀市において国道203号佐賀唐津幹線道路整備促進期成会、国道204号整備促進期成会、佐賀唐津道路唐津・多久間整備促進期成会合同の提案活動に、上田議長とともに参加いたしました。本提案活動では、佐賀国道事務所及び佐賀県に対し、それぞれ提案書を提出いたしました。今回提案活動を行った道路は、本町においても、物流、観光振興に不可欠な幹線道路としてだけでなく、佐賀県では令和元年佐賀豪雨、令和3年8月の大雨に続き、本年の7月にも記録的な大雨が発生するなど、激甚化、頻発化する自然災害の発生時における防災道路としての大きな役割も期待されているところでございます。道路網の整備充実の必要性がさらに高まっている状況を鑑み、早期竣工を目指し、引き続き提案活動を行ってまいります。

次に、8月20日、町民会館において全国教職員相撲選手権大会が開催され、上田議長をはじめ、西副町長、議員の皆さんとともに出席いたしました。この大会は、令和6年10月6日から8日にかけて開催されるSAGA2024国民スポーツ大会相撲競技のリハーサル大会として開催したものでございます。本大会では、16チーム、56名が参加され、熱戦が繰り広げられました。来年度開催予定のSAGA2024国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会に向け、国スポ推進室をはじめ関係機関や職員とともに準備等全力で取り組んでまいります。

次に、8月22日、東京都において全国原子力発電所立地市町村協議会の要請活動に参加いたしました。要請活動では、経済産業省、環境省などの関係省庁訪れ、松野内閣官房長官や各省庁の大臣政務官と面会し、要請書の提出と意見交換を行いました。要請の内容として、被災地の復興、原子力施設の安全性及び防災対策の実効性の向上への不断の取組、グリーントランスフォーメーション実現に向けた基本方針等で示された原子力利用に係る取組の推進や立地地域の振興に資する制度の改善、拡充に関して要請を行ってまいりました。

次に、8月23日、福岡市において国道203号佐賀唐津幹線道路整備促進期成会及び佐賀唐津道路唐津・多久間整備促進期成会の合同提案活動に、上田議長とともに参加いたしました。両路線ともに物流、観光、自然災害時の応急対策への効果が期待されるほか、国道203号線につきましては、原子力災害時の主要避難経路として期待が大きいところで、一日でも早い整備完了に向け、また佐賀唐津道路につきましては、唐津側の未整備区間である唐津相知間の約10キロメートルについて事業化の見通しが立っていない状況を踏まえ、引き続き要請活動を行っていく考えでございます。

次に、8月31日、佐賀市において佐賀県町村会及び佐賀県町村議会議長会主催の町村特別研修会・町村議会議員研修会が開催され、上田議長をはじめ、西副町長、議員の皆様や青木代表監査とともに出席いたしました。本研修会では、株式会社日本総合研究所主席研究員である藻谷浩介氏より「人口減少時代に生き残るのは、海外？大都市？それとも佐賀？」と題する講演が行われました。講演では、今あるもので1,000年後に残っているものは何かと問われ、1,000年後にあるものは、1,000年前からあるものであり、田畑や寺社、水路であり、都会の高層ビルは残らない。地方だからこそこれからの1,000年に残せるものがたくさんある。佐賀のよさ、町村のよさを積極的にアピールしてくださいと激励の言葉をいただき、改めて佐賀のよさを考えさせられる機会となり、大変有意義なものになったところでございます。

以上で行政報告を終わります。

日程5 議案第45号 玄海町教育委員会委員の任命について

○議長（上田利治君）

日程5. 議案第45号 玄海町教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

それでは、議案第45号 玄海町教育委員会委員の任命につきまして提案理由を御説明いたします。

次の者を玄海町教育委員会の委員に任命したいから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めるものでございます。

住所は、玄海町大字仮屋222番地14でございます。氏名は、脇山希洋治氏でございます。

提案理由といたしまして、脇山希洋治委員の任期が令和5年10月6日に満了するため、後

任者の任命が必要であることから提案するものでございます。

以上、簡単でございますが、どうか御審議の上、原案どおりの御同意いただきますようよろしく申し上げます。

○議長（上田利治君）

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本件は人事案件ですので、討論を省略して採決したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、討論を省略して直ちに採決いたします。

議案第45号 玄海町教育委員会委員の任命については、原案のとおり同意することに賛成諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（上田利治君）

起立全員と認めます。よって、本件は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程6 議案第46号 佐賀県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議について

○議長（上田利治君）

日程6. 議案第46号 佐賀県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

それでは、議案第46号 佐賀県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議につきまして提案理由を御説明いたします。

地方自治法第286条第1項の規定により、佐賀県東部環境施設組合を退職手当の支給に関する事務の共同処理に参加させることに伴い、佐賀県市町総合事務組合同規約を変更することにつきまして、同法第290条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

以上、提案の理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（上田利治君）

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第46号 佐賀県市町総合事務組合同規約の変更に係る協議については原案のとおり決するに賛成諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（上田利治君）

起立全員と認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程7 議案第47号 令和5年度玄海町一般会計補正予算（第4号）

議案第48号 令和5年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第49号 令和5年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第50号 令和5年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○議長（上田利治君）

日程7. 議案第47号 令和5年度玄海町一般会計補正予算（第4号）から議案第50号 令和5年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）までの以上4件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

それでは、提案しております議案について提案理由を御説明いたします。

令和5年度会計の補正予算が4件でございます。議案番号順に申し上げます。

それでは、補正予算でございますが、議案第47号 令和5年度玄海町一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億3,707万3,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を111億5,837万7,000円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、1款町税、2項固定資産税、1目固定資産税1億9,740万円の増額の主なものは、九州電力玄海原子力発電所関係の課税額が増額したものでございます。

次に、14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金1,139万6,000円の増額の主なものは、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策の地方創生臨時交付金を推奨事業に活用するため、交付を受けるものでございます。

次に、19款繰越金、1項繰越金、1目繰越金2億2,003万円の増額は、令和4年度決算において発生した決算剰余金を繰越金として令和5年度にて受け入れるものでございます。

次に、歳出補正予算の主なものといたしましては、2款総務費、1項総務管理費、6目基金管理費、財政調整基金経費1億3,585万2,000円の増額は、地方財政法第7条に基づき、歳入で計上しました令和4年度の決算剰余金のうち、2分の1を下らない額を基金に積み立てるものでございます。

同じく、公共施設整備基金経費2億6,817万8,000円の増額は、今回の補正予算全体の財源調整額を基金に積み立てるものでございます。

次に、歳入で説明しました地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対応支援事業として、福祉施設等への支援金を総額で683万円計上いたしております。内訳としましては、3款民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉事業費574万円の増額が介護施設を含む高齢者施設へ、同じく4目障害者福祉費のうち20万円の増額が障害者施設へ、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費のうち89万円の増額が医療機関を対象としたものでございます。

次に、7款商工費、1項商工費、2目商工振興費、玄海町みんな応援券発行事業5,293万7,000円の増額は、住民1人当たり1万円の商品券を発行し、物価高騰等の影響を受けた住民の生活を下支えするとともに、地域産業を支援するものでございます。なお、本事業の財源としましては、先ほどの支援金と同じ地方創生臨時交付金に加え、ふるさと応援寄附金基金を活用したいと考えております。

次に、11款災害復旧費、1項農林水産施設災害復旧費、1目農地農業用施設災害復旧費3,172万3,000円の増額は、今年7月の豪雨で被災した農地や施設の復旧に係る経費でございまして、歳入ではこれに伴う分担金や県支出金を計上いたしております。

次に、議案第48号 令和5年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,492万4,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を10億6,192万4,000円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、1款国民健康保険税、1項国民健康保険税、1目一般被保険者国民健康保険税1,229万9,000円の減額の主なものは、本算定によるものでございます。

次に、8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金9,679万8,000円の増額は、令和4年度決算において発生した決算剰余金を繰越金として令和5年度に受入れるもので、このうち県支出金の前年度の超過額分は返還金に充当するものでございます。

歳出補正予算の主なものといたしましては、8款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、6目県費補助金返還金8,258万2,000円の増額は、歳入でも御説明いたしましたとおり、令和4年度の所要額を精査し、県支出金の不用額を返還するものでございます。

次に、継続費の追加について御説明いたします。

1款総務費、1項総務管理費において、システムの移行費用4,963万8,000円を設定するものでございまして、同時に歳出予算に今年度の年割り額を計上いたしております。

次に、議案第49号 令和5年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,653万3,000円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を7億7,053万3,000円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金2,068万4,000円の増額は、令和4年度決算において発生した決算剰余金を繰越金として令和5年度に受け入れるもので、このうち国県支出金等の前年度の超過額分は返還金に充当するものでございます。

歳出補正予算の主なものといたしましては、6款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、2目償還金1,157万4,000円の増額は、歳入でも御説明いたしましたとおり、令和4年度の所要額を精査し、国県支出金等の不用額を返還するものでございます。

次に、議案第50号 令和5年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、歳

入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ91万4,000円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を8,808万6,000円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、1款後期高齢者医療保険料190万9,000円の減額で、これは保険料の本算定の結果によるものでございまして、これに伴い、歳出2款の広域連合への納付金も減額いたしております。

以上、提案の理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（上田利治君）

ここでお諮りいたします。本件につきましては、予算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、議案第47号 令和5年度玄海町一般会計補正予算（第4号）から議案第50号 令和5年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）までの以上4件については予算特別委員会に付託して審議することに決定いたしました。

- 日程8 議案第51号 令和4年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第52号 令和4年度玄海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第53号 令和4年度玄海町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第54号 令和4年度玄海町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第55号 令和4年度玄海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第56号 令和4年度玄海町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

○議長（上田利治君）

日程8. 議案第51号 令和4年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定についてから議案第56号 令和4年度玄海町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの以上6件

を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

議案第51号から議案第56号までの令和4年度の各会計の決算につきまして提案理由を御説明いたします。

令和4年度の玄海町一般会計及び各特別会計の決算について議会の認定をいただきたく、監査委員の意見書をつけて御提案いたしております。

まず、議案第51号 令和4年度玄海町一般会計の決算でございますが、歳入決算額は98億8,073万3,344円で、予算現額に対して5,796万4,344円の増、調定額99億1,333万7,283円に対する収入率は99.7%でございます。歳出決算額は94億2,963万6,179円で、予算現額98億2,276万9,000円に対する執行率は96.0%、翌年度繰越額が2億2,035万4,000円、不用額が1億7,277万8,821円になります。この結果、歳入歳出差引き残額は4億5,109万7,165円となりまして、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は2億7,170万2,165円でございます。

次に、議案第52号 令和4年度玄海町国民健康保険特別会計の決算でございますが、歳入決算額は9億5,691万5,116円で、予算現額に対して361万1,884円の減、調定額に対する収入率は98.5%でございます。歳出決算額は8億6,011万6,134円で、予算現額に対する執行率は89.5%となり、その結果、歳入歳出差引き残額は9,679万8,982円でございます。

次に、議案第53号 令和4年度玄海町介護保険特別会計の決算でございますが、歳入決算額は7億5,929万7,624円で、予算現額に対して202万6,376円の減、調定額に対する収入率は99.7%でございます。歳出決算額は7億3,823万3,601円で、予算現額に対する執行率は97.0%となり、この結果、歳入歳出差引き残額は2,106万4,023円でございます。

次に、議案第54号 令和4年度玄海町下水道事業特別会計の決算でございますが、令和5年度からの企業会計移行に伴い、令和4年度は打切り決算となっております。歳入決算額は3億1,919万5,825円で、予算現額に対して811万8,175円の減、調定額に対する収入率は98.1%でございます。歳出決算額は2億7,300万2,219円で、予算現額に対する執行率は83.4%となり、この結果、歳入歳出差引き残額は4,619万3,606円でございます。

次に、議案第55号 令和4年度玄海町後期高齢者医療特別会計の決算でございますが、歳入決算額は8,294万8,320円で、予算現額に対して2万7,320円の増、調定額に対する収入率は100.1%でございます。歳出決算額は8,201万1,831円で、予算現額に対する執行率は

98.9%となり、この結果、歳入歳出差引き残額は93万6,489円でございます。

最後に、議案第56号 令和4年度玄海町水道事業会計剰余金の処分及び決算でございますが、まず収益的収入及び支出につきまして、収入決算額が3億9,391万5,576円、支出決算額が3億8,237万8,441円となっております。

損益計算書につきましては、収益合計が3億7,504万3,247円、費用合計が3億6,927万7,421円で、これに特別利益及び特別損失を合わせると469万2,808円の純利益となり、当年度未処分利益剰余金も同額となりました。

また、資本的収入及び支出でございますが、収入決算額が2億1,817万7,000円、支出決算額が3億7,551万7,643円で、収支差引き後の不足分は、損益勘定留保資金などをもって補填いたしております。

未処分利益剰余金は、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、資本金に積み立て、あわせて同法第30条第4項の規定に基づき、決算の認定を受けることについて議会の議決を求めるものでございます。

以上、令和4年度各会計の決算につきまして概要を申し上げます。

それから、令和4年度玄海町健全化判断比率及び資金不足比率につきましても、監査委員の意見書をつけて報告をいたしております。

また、意見書の中で監査委員から様々な御指摘をいただいていることにつきましては、十分に反省をし、今後、予算の適正な編成と執行管理に努めていきたいと考えております。

どうか御審議の上、認定をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（上田利治君）

本件につきましては、監査委員の意見をつけて議会の認定に付されておりますので、議会選出の監査委員として選任されております岩下孝嗣議員に決算審査の報告をいただきたいと思います。9番岩下孝嗣君。

○9番（岩下孝嗣君）

決算審査の報告をいたします。

令和4年度玄海町一般会計及び各特別会計決算並びに水道事業会計決算の審査につきましては、去る7月3日から8月10日までの期間実施いたしましたところ、審査に付された一般会計及び各特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用状況調書及び社会保障施策に要する経

費につきましては、それぞれの関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、法令に準拠して作成されており、計数に誤りはなく正確であることを認めます。

令和4年度の一般会計予算は、歳入においては、昨年と同様に町税、国県支出金、寄附金を主な財源となされておりますが、今後とも歳入財源の確保に努められ、魅力あるまちづくりの施策に期待しております。

なお、地方自治体の財源の基となる町税の滞納は、町財政運営の根幹を揺るがすものであり、重大な問題でありますので、今後とも収入を確保し、負担の公平性を維持するため、収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

歳出につきましては、水道事業会計繰出金やゲートボール場屋根設置工事、社会体育館空調機設置工事及び災害復旧工事費が増となっており、前年度と比較して約1億4,000万円の増額となっております。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約7,300万円の減少となっており、歳出でも前年度と比較して約1億5,300万円の減少となっております。これは、主に保険給付費が減少したことによるものであります。歳入の国民健康保険税についても町税と同様、滞納がありますが、この国民健康保険税は本会計財源の根幹でありますので、町税と同様に収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

次に、介護保険特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約950万円増加しており、歳出でも前年度と比較して約1,600万円増加しております。第1号被保険者保険料につきましても滞納が発生しておりますので、町税と同様に収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

次に、下水道事業特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約1億2,300万円減少しており、歳出におきましても約1億6,900万円の減少となっております。今後も、住民の衛生的な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、接続率の向上に特段の努力を望むものであります。

次に、後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約770万円増加しており、歳出では前年度と比較して約760万円増加しております。

最後に、水道事業会計につきましては、これまで多額の資本が投入され、施設も普及率と有収率の向上を目標に逐次整備改善されておりますが、公営企業運営という基本理念の下

に、さらに経費の節減、合理化に努めるとともに、町民の生活用水を確保し、環境整備の向上を図るため、本事業が健全でかつ効率的に運営されるよう望むものであります。

以上、簡単に会計別に申し上げましたが、令和4年度は会計事務もおおむね適正に処理されており、大きな問題点はありませんでしたが、財務規則にのっとり適正な会計事務を行う必要がある点が見受けられました。今後も職員研修等を実施し、職員の事務処理能力向上に努め、適正な会計事務と効率的な予算執行が行われるよう強く望むものであります。

なお、職員においては、これからは小規模自治体ほど人手不足が深刻化するとされる中で、現在の多種多様な行政サービスを維持していくためにも、適切な職員数で組織を編成され、人材育成の推進を行い、玄海町を支えることができる職員の確保に努めていただきたいと思います。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に加えて、原油価格と物価の高騰などの影響を受ける町民の負担軽減を図るため、玄海町みんなで応援券発行事業及び配合飼料価格高騰対策事業などが新たに行われております。特に玄海町みんなで応援券発行事業については、商品券及び食事券の発行が行われ、減退した消費者の利用を取り戻すことにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて落ち込んだ地域経済の活性化が図られております。

本庁の財政は、少子・高齢化の進行等に伴う社会保障費及び各種公共施設等の経年劣化による維持補修費などの歳出費用の増加が見込まれる中、歳入財源の確保が厳しくなることが予想されます。そのため、歳入では、税金、料金、使用料など本町歳入金の未納や滞納については、地方自治法並びに本町条例及び規則など関係法令等に基づき、適時適切に処理し、収入未済額及び不納欠損額の縮減に努めていただきたいと思います。歳出においては、最少の経費で最大の効果を上げることが念頭に置き、これまで以上に経常経費の無駄をなくすとともに支出の抑制や効果的で効率的な事業実施に努められ、健全な財政運営がなされることを期待いたします。

最後になりますが、第5次玄海町総合計画で掲げた「人と自然がおりなす 笑顔あふれる玄海町」という町の将来像に向かって、職員一人一人が自覚と責任を持ち、町民の幸せのための諸政策を推進されていくことを強く望むものであります。

なお、詳しいことにつきましては、お手元の決算審査意見書により御了承方お願いいたします。

以上で決算審査の報告を終わります。

○議長（上田利治君）

ここでお諮りいたします。本件につきましては、決算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、議案第51号 令和4年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定についてから議案第56号 令和4年度玄海町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの以上6件については決算特別委員会に付託して審議することに決定いたしました。

以上をもって本日の議事日程は全部終了いたしました。よって、本日の会議はこれにて散会いたします。

午前9時55分 散会